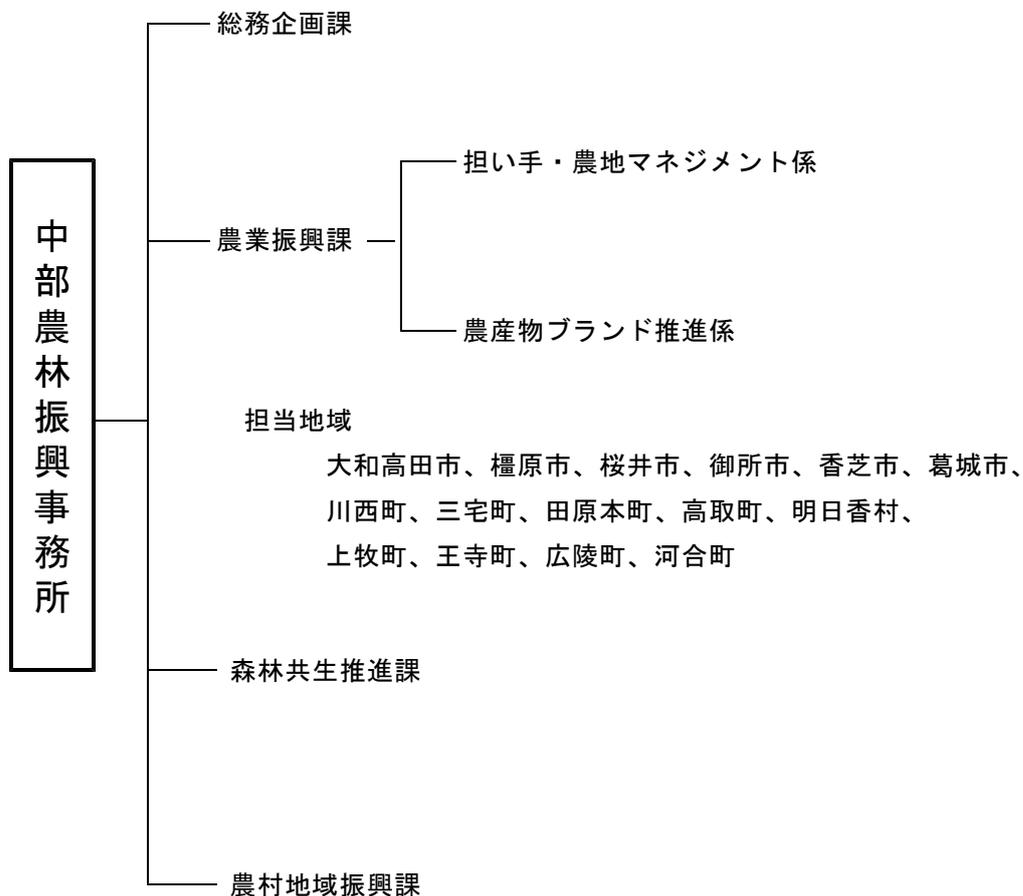


## Ⅱ 年度計画

### 1. 農業振興課の活動体制

#### (1) 組織と活動体制



#### ○所在地

奈良県橿原市常盤町605-5（橿原総合庁舎内）（〒634-0003）

電話：担い手・農地マネジメント係 0744-48-3081  
農産物ブランド推進係 0744-48-3082

FAX：0744-48-3133

メールアドレス：cnorin-nr@office.pref.nara.lg.jp

(2) 業務分担表  
プロジェクトチーム

課題名	主な活動内容	メンバー（チーフに○）
農地マネジメント（特定農業振興ゾーン）の推進	特定農業振興ゾーン各地区の具体的な取組支援 川西町下永東城地区 田原本町法貴寺地区 八田地区 広陵町寺戸地区 百済川向地区 特定農業振興ゾーンの設定推進	農業振興課 担い手・農地マネジメント係 ○新子悟志 門有紀 林良考 島康博 東井慈子 農産物ブランド推進課係 秀田章人 山本尚明 磯島俊実 今村剛士 前田茂一 洲上彩花 農村地域振興課

係別業務分担

係名	職名	氏名	専門項目	担当業務	担当事業
	課長	奥谷晃弘		農業振興課総括 ◎ 異常水質 GAP推進	◎ 農業改良普及指導事業 ◎ 改良普及職員研修事業
担い手・農地マネジメント係	係長	新子悟志	野菜経営	◎ 係総括 ◎ 担い手 ◎ 青少年・NAFIC ◎ 農地マネジメント 災害・公害 異常水質 表彰 農業推進協議会 新規就農 担い手（法人化） 担い手（集落営農） 担い手（人・農地プラン） 指導農業士 農村資源活用（都市農村交流）	◎ 奈良の意欲ある担い手支援事業 ◎ なら農業経営塾運営事業 ◎ 農地マネジメント推進事業 ◎ 特定農業振興ゾーン 農業改良普及指導事業 改良普及職員研修事業 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 奈良県産地パワーアップ事業 みどりの農業戦略推進事業 担い手確保・経営強化支援事業 経営体育成支援事業 農業経営基盤強化促進対策事業 集落営農活性化プロジェクト促進事業 兼業農家支援事業 地域農業担い手確保支援事業 農業新規参入者支援事業 新規就農者確保事業 農福連携支援事業
	主任主査	門有紀	◎ 農産物活用 花き経営	◎ 直売所 ◎ 制度資金 ◎ 女性活動・男女共同参画 ◎ 女性グループ ◎ 販売・流通 ◎ 食・特産品 ◎ 農商工連携 情報 新規就農 担い手 障害者農業支援	◎ 農産物直売所支援事業 ◎ 担い手確保・経営強化支援事業 ◎ 経営体育成支援事業 ◎ 日本政策金融公庫資金貸付先調査及び指導事業 ◎ NARA女性農業者育成事業 ◎ 女性農業者活躍推進事業 ◎ 農業の6次産業化支援事業 ◎ 首都圏での県産食品販売強化事業 奈良の意欲ある担い手支援事業 なら農業経営塾運営事業 農業経営基盤強化促進対策 地域農業担い手確保支援事業 農業新規参入者支援事業 新規就農者確保事業 農福連携支援事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業 奈良県産給食推進事業
	主任主査	林良考	果樹経営	◎ 新規就農 担い手（法人化） 担い手（集落営農） 担い手（人・農地プラン） 制度資金 農業推進協議会	◎ 農業新規参入者支援事業 ◎ 新規就農者確保事業 ◎ 地域農業担い手確保支援事業（新規就農関係） 経営体育成支援事業 奈良の意欲ある担い手支援事業 なら農業経営塾運営事業 農業経営基盤強化促進対策 集落営農活性化プロジェクト促進事業 地域農業担い手確保支援事業（認定農業者関係） 日本政策金融公庫資金貸付先調査及び指導事業 特定農業振興ゾーン

係名	職名	氏名	専門項目	担当業務	担当事業
担い手・農地マネジメント係	主査	島 康博	◎ 経営 野菜	◎ 担い手(法人化) ◎ 指導農業士 ◎ 障害者農業支援 担い手 担い手(集落営農) 担い手(人・農地プラン) 新規就農 制度資金	◎ 農業経営基盤強化促進対策 ◎ 集落営農活性化プロジェクト促進事業 ◎ 地域農業担い手確保支援事業(認定農業者関係) ◎ 農福連携支援事業 経営体育成支援事業 奈良の意欲ある担い手支援事業 なら農業経営塾運営事業 農業新規参入者支援事業 新規就農者確保事業 地域農業担い手確保支援事業(新規就農関係) 日本政策金融公庫資金貸付先調査及び指導事業 特定農業振興ゾーン
	主査	東井慈子	作物 経営 農産物活用	◎ 農村資源活用(都市農村交流) ◎ 担い手(集落営農) ◎ 担い手(人・農地プラン) 担い手 担い手(法人化) 新規就農 制度資金 女性活動・男女共同参画 女性グループ 農地マネジメント 販売・流通 食・特産品 農商工連携 直売所	◎ 兼業農家支援事業 ◎ 農村資源を活用した地域づくり事業 ◎ 中山間地域等直接支払事業 ◎ 中山間地農業ルネッサンス事業 みどりの農業戦略推進事業 環境保全型農業直接支払事業 農産物直売所支援事業 担い手確保・経営強化支援事業 経営体育成支援事業 奈良の意欲ある担い手支援事業 なら農業経営塾運営事業 農業経営基盤強化促進対策 集落営農活性化プロジェクト促進事業 地域農業担い手確保支援事業 農業新規参入者支援事業 新規就農者確保事業 日本政策金融公庫資金貸付先調査及び指導事業 NARA女性農業者育成事業 女性農業者活躍推進事業 農地マネジメント推進事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業 農業の6次産業化支援事業 奈良県産学校給食推進事業 首都圏での県産食品販売強化事業

係名	職名	氏名	専門項目	担当業務	担当事業
農産物ブランド推進係	副主幹	秀田章人	◎ 野菜 作物	係総括 ◎ 災害・公害 ◎ 表彰 ◎ 農業推進協議会 ◎ 農産物品評会 ◎ 農産物ブランド推進 ◎ 畜産 ◎ 営農連絡協議会 異常水質 GAP推進 ICT 農業機械 新規就農	◎ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 ◎ 奈良県産地パワーアップ事業 ◎ 施設園芸等燃油価格高騰対策事業 ◎ チャレンジ品目支援事業 ◎ リーディング品目支援事業 ◎ 奈良県農畜産物ブランド認証推進事業 ◎ 奈良県農業用ハウス強靱化対策事業 ◎ みどりの農業戦略推進事業 ◎ 首都圏での大和野菜等販路開拓事業 農業改良普及指導事業 改良普及職員研修事業 主要農作物生産改善対策事業 野菜価格安定対策事業 大和野菜増産モデル事業 薬用作物栽培技術導入推進事業 農業適正使用推進対策事業 資源循環型農業推進総合対策事業 奈良県GAP取組・認証拡大推進事業 次世代スマート農業普及推進事業 特定農業振興ゾーン 奈良県産給食推進事業
	主査	山本尚明	◎ 花き	◎ 鳥獣害対策 ◎ 農業機械 農産物ブランド推進 GAP推進 ICT 植物防疫 農薬取締員 新規就農 桜 青少年・NAFIC	◎ 鳥獣被害防止対策事業 ◎ 総合的鳥獣害対策推進事業 ◎ ならジビエ推進事業 チャレンジ品目支援事業 リーディング品目支援事業 奈良県農業用ハウス強靱化対策事業 奈良県GAP取組・認証拡大推進事業 次世代スマート農業普及推進事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業
	主査	磯島俊実	野菜 作物	◎ 環境 ◎ 農薬取締員 ◎ 農薬肥料販売届 情報 農産物ブランド推進 GAP推進 ICT 植物防疫 鳥獣害対策 直売所 畜産 新規就農 販売・流通 食・特産品	◎ 経営所得安定対策等推進事業 ◎ 米政策改革推進対策事業 ◎ 大和野菜増産モデル事業 ◎ 農業適正使用推進対策事業 ◎ 環境保全型農業直接支払事業 主要農作物生産改善対策事業 チャレンジ品目支援事業 リーディング品目支援事業 奈良県農畜産物ブランド認証推進事業 野菜価格安定対策事業 奈良県農業用ハウス強靱化対策事業 資源循環型農業推進総合対策事業 奈良県GAP取組・認証拡大推進事業 次世代スマート農業普及推進事業 鳥獣被害防止対策事業 総合的鳥獣害対策推進事業 ならジビエ推進事業 農産物直売所支援事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業 農業の6次産業化支援事業
	主任主事	今村剛士	◎ 果樹 野菜 作物	◎ GAP推進 ◎ 植物防疫 農産物ブランド推進 環境 ICT 農薬取締員 畜産 農業機械 新規就農 葛 青少年・NAFIC 特定農業振興ゾーン	◎ 果樹産地構造改革支援事業 ◎ 奈良県GAP取組・認証拡大推進事業 経営所得安定対策等推進事業 米政策改革推進対策事業 主要農作物生産改善対策事業 チャレンジ品目支援事業 リーディング品目支援事業 奈良県農業用ハウス強靱化対策事業 農業適正使用推進対策事業 環境保全型農業直接支払事業 次世代スマート農業普及推進事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業 首都圏での県産食品販売強化事業

係名	職名	氏名	専門項目	担当業務	担当事業
農産物ブランド推進係	主査	前田茂一	◎ 薬草 野菜 花き	◎ 情報 ◎ ICT 農産物ブランド推進 環境 植物防疫 農薬取締員 GAP推進 鳥獣害対策 新規就農	◎ 薬用作物栽培技術導入推進事業 ◎ 次世代スマート農業普及推進事業 チャレンジ品目支援事業 リーディング品目支援事業 奈良県農業用ハウス強靱化対策事業 農薬適正使用推進対策事業 奈良県GAP取組・認証拡大推進事業 鳥獣被害防止対策事業 総合的鳥獣害対策推進事業 ならジビエ推進事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業
	主事	淵上彩花	◎ 作物 野菜 農産物活用 薬草	農産物ブランド推進 環境 GAP推進 ICT 植物防疫 農薬取締員 畜産 新規就農 飛 青少年・NAFIC 女性活動・男女共同参画 女性グループ 特定農業振興ゾーン 販売・流通 食・特産品 農商工連携	◎ 主要農作物生産改善対策事業 ◎ 野菜価格安定対策事業 ◎ 資源循環型農業推進総合対策事業 ◎ 奈良県産給食推進事業 経営所得安定対策等推進事業 米政策改革推進対策事業 チャレンジ品目支援事業 リーディング品目支援事業 奈良県農畜産物ブランド認証推進事業 奈良県農業用ハウス強靱化対策事業 薬用作物栽培技術導入推進事業 みどりの農業戦略推進事業 農薬適正使用推進対策事業 環境保全型農業直接支払事業 奈良県GAP取組・認証拡大推進事業 次世代スマート農業普及推進事業 NARA女性農業者育成事業 女性農業者活躍推進事業 特定農業振興ゾーン 首都圏での大和野菜等販路開拓事業 農業の6次産業化支援事業 首都圏での県産食品販売強化事業

## 2. 重点課題年度計画

### 課題No. 1 課題名 特定農業振興ゾーンでの農業生産額増加(令和元年度～令和5年度)

農業振興課 担い手・農地マネジメント係  
農産物ブランド推進係

#### 現状と将来ビジョン (対象 特定農業振興ゾーン実施地区)

近年、農地の効率的な利用は低調で、単位面積当たりの農業産出額も低下傾向にあることから、土地生産性の高い農業を育成することにより農地を有効に活用し、農業を振興することが必要となっている。

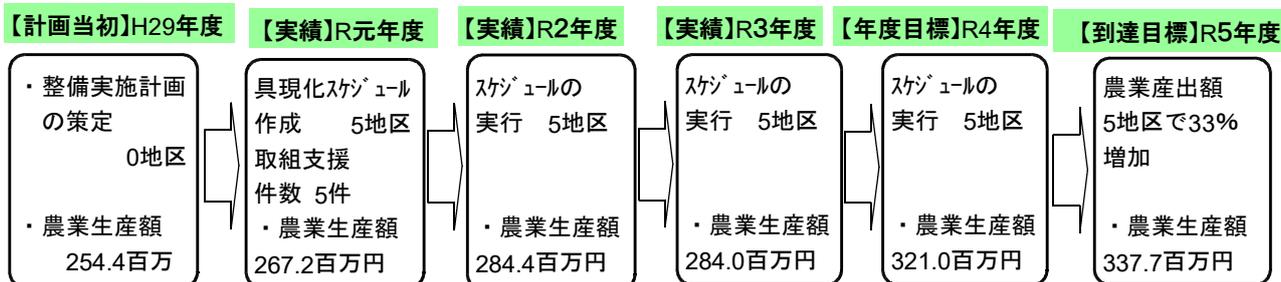
そこで、特に農業の振興を図り、農地の有効利用を図るエリアとして「特定農業振興ゾーン」を設定し、地域の特徴を踏まえた高収益作物への転換や面的まとまりを持った農地・土地利用の確保、耕作放棄地の解消・防止、多様な担い手の確保、担い手への農地集積、農地整備などを推進する。

#### (普及指導課題)1. 特定農業振興ゾーンの具体的取組支援

##### 昨年度までの活動状況と残された課題

特定農業振興ゾーンとして設定された3町5地区について、整備実施計画に基づき活動を行うことで、担い手に向けた優良な農地の貸し手も現れたものの、受け手である担い手が育っておらず、マッチングに苦慮する状況にある。今後、NAFICやなら担い手・農地サポートセンター、町との連携を強化し、担い手の確保を目指すとともに必要な高収益作物生産を推進する。また、当初計画から変更が生じる町もあるため、当該の町と計画の変更について協議する。

##### 成果指標と到達目標



#### (普及指導課題)2. 特定農業振興ゾーンの推進

##### 昨年度までの活動状況と残された課題

現在、3町5地区が特定農業振興ゾーンとして承認され、整備実施計画に基づき様々な取組を推進しているが、今後も地域の特徴を踏まえた高収益作物への転換や面的まとまりを持った農地・土地利用の確保、耕作放棄地の解消・防止、多様な担い手の確保、担い手への農地集積、農地整備など、農地の有効利用を図る「特定農業振興ゾーン」の制度の周知を図り、新たに設定を希望する市町村については、計画の策定等について支援を行う。

##### 成果指標と到達目標



## 活動計画

普及指導事項		活動方法・回数等	月別活動計画												担当
1. 特定農業振興ゾーンの具体的取組支援			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	担い手 ・農地 マネジメント係
各地区	・具現化スケジュールの実行及び計画の再検討	地元打合せ 2回 現地調査 1回 成果まとめ 1回 計画の再検討 5回			◎	◎		◎	◎					◎	
川西町 下永東 城	・結崎初カ安定生産 ・新規高収益作物の検討	関係機関打合せ 2回 巡回指導 4回 栽培講習会 1回 検討会 1回 栽培講習会 1回 実証圃設置 1カ所 巡回指導 4回		◎	◎				◎	◎			◎		農業振 興課
田原本 町法貴 寺	・新規就農者営農定着支援 ・施設野菜生産性向上 ・集落営農組織活動支援	巡回指導 6回 新規就農者誘致活動 3回 栽培指導 4回 運営支援 3回	◎											◎	農業振 興課
田原本 町八田	・野菜の生産性向上 ・新規高収益作物の検討	実証圃設置 2カ所(トマト、ねぎ) 栽培指導 10回 検討会 1回 栽培講習会 1回 実証圃設置 1カ所		◎	◎									◎	農業振 興課
広陵町 寺戸	・新規イチゴ栽培者営農定着支援 ・次世代スマート農業普及推進	巡回指導 6回 農業塾生就農支援 6回 研修会 1回 実証圃調査 3回	◎		◎				◎					◎	農業振 興課
広陵町 百済川 向	・営農組合運営支援	役員会 5回 法人化打合 5回(担い手集積検討、高収益作物検討) 小麦巡回指導 5回		◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	農業振 興課
2. 特定農業振興ゾーンの推進															担い手 ・農地 マネジメント係
希望市町村	状況把握	随時	◎											◎	担い手 ・農地 マネジメント係

## 関係機関との連携・関連事業

関係機関との連携：市町村担当課（整備実施計画）、中部農林振興事務所農村地域振興課（基盤整備）  
 関連事業：農地中間管理機構関連農地整備事業、

## 課題No. 2 課題名 人・農地プランの実質化と農地マネジメントの推進

(令和3年度～令和5年度)

農業振興課 担い手・農地マネジメント係

### 現状と将来ビジョン (対象 市町村、集落営農組織)

農地の荒廃を防止し有効利用するためには、地域農業を担う経営体の確保が重要であり、集落・地域での徹底的な話し合いを通じて、地域の5年後・10年後に起こりうる危機を認識・共有するとともに、今後の地域農業の在り方を踏まえ地域の中心となる経営体を明確化し、これらへの農地集積について合意形成することが必要となっている。

そこで、地域の実情に合った実質化された「人・農地プラン」を策定するとともに、その実行計画となる「地域計画」の作成を支援することで、意欲ある担い手や集落営農組織に地域の農地の集積・集約化をすすめ、耕作放棄地の発生防止や農村地域の活性化を目指す。また、担い手としての集落営農組織の法人化を支援し、継続性のある集落営農組織を構築する。

### (普及指導課題) 1. 集落ビジョンの明確化と集落営農組織の育成

#### 昨年度までの活動状況と残された課題

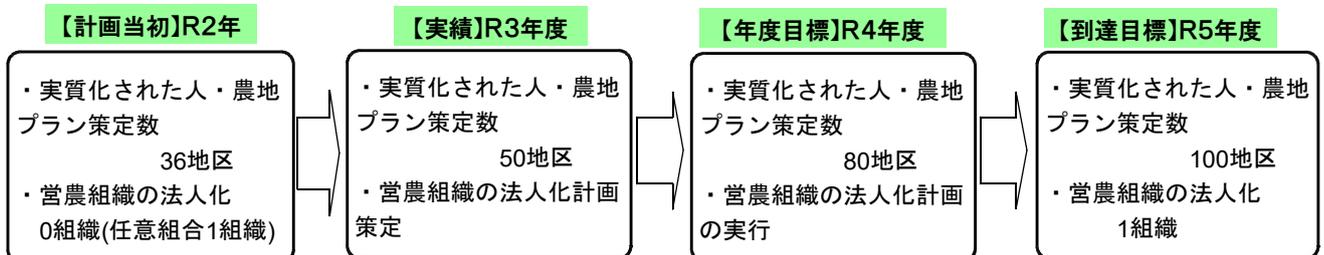
人・農地プランの実質化については、集落座談会や検討会での助言・指導により、令和3年度までに管内50地区で実質化したプランが策定された。

まだ実質化がされていない地区については、市町村と連携しながら、プランの策定や更新の支援を行う。また、地域の将来像を描く「地域計画」についても、実質化された人・農地プランへの移行または策定を念頭に置いた周知と支援を行う。

集落営農組織の活動高度化については、活動強化計画に沿った法人化を目指す。

実質化された人・農地プランが策定された地区に対し、関係機関と連携しながら農地集積を図る。

#### 成果指標と到達目標



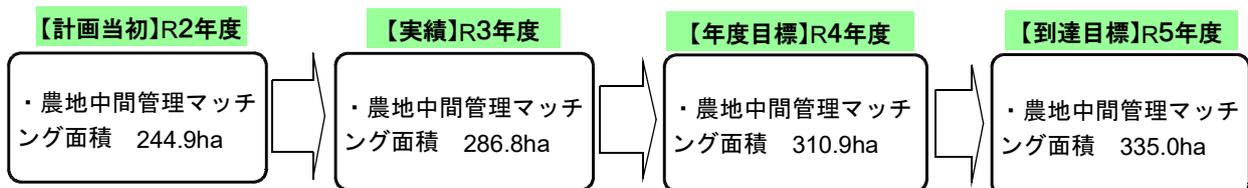
### (普及指導課題) 2. 担い手への農地集積

#### 昨年度までの活動状況と残された課題

現在までの農地中間管理事業によるマッチング面積は286.8haとなっている。

今後も新たな担い手の育成を図りながら、意向にあった農地を集積・集約化出来るように関係機関と連携しながら農地集積を図る。

#### 成果指標と到達目標



## 活動計画

普及指導事項	活動方法・回数等	月別活動計画												担当	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1. 集落ビジョンの 明確化と集落営農 組織の育成 ①人・農地プランの 策定支援 ②集落営農組織の活 動支援	市町村打合せ 14回	◎	—	◎											○新子 東井
	集落座談会 20回			◎	—	—	—	—	—	—	—	◎			
	法人化検討会 役員会 5回			◎	◎			◎			◎		◎		
	専門家派遣 2回				◎				◎						
	小麦栽培指導 5回	◎							◎	—	—	—	◎		
2. 担い手への農地 集積 ①関係機関との連携	農地マネジメントチ ーム会議 10回	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	○新子 東井	
	人・農地プラン集落 座談会での啓発 20回				◎	—	—	—	—	—	—	—	◎		

## 関係機関との連携・関連事業

関係機関との連携：市町村担当課（人・農地プラン作成・集落連携）  
 奈良県農業会議（奈良県農業経営者サポート協議会・専門家派遣）  
 中部農林振興事務所農村地域振興課（基盤整備）

関連事業：人・農地問題解決加速化支援事業  
 地域農業担い手確保支援事業  
 農地耕作条件改善事業  
 集落営農活性化プロジェクト促進事業

**現状と将来ビジョン** (対象 就農希望者および新規就農者)

相談に訪れる就農希望者の多くは、栽培技術が未熟で経営ビジョンは構想中の段階にある。この段階の就農希望者に対して、栽培技術の習得や経営ビジョンの確立などの基礎的な指導を行い青年等就農計画の認定に向けた支援を行っているが、同計画の認定に至る割合は低い。また、就農後は、経営目標の達成に向けて順調に営農を進める者がいる一方で、様々な事情で経営継続が困難となり、離農する事例も見られる。

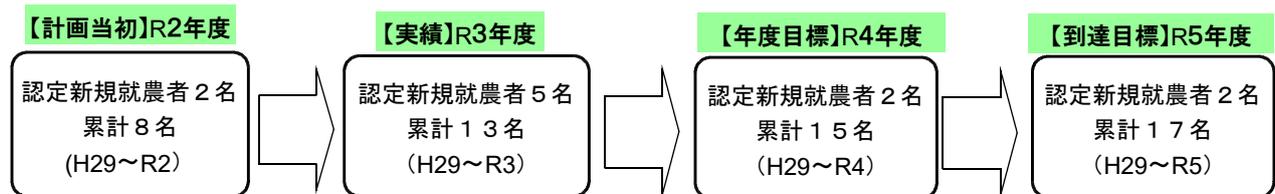
必要な制度や支援策を活用しつつ、就農希望者が円滑に就農できるよう支援を行うとともに、就農後は早期に経営を安定させ、地域の担い手として定着させることを目指す。

**(普及指導課題) 1. 就農希望者への対応**

**昨年までの活動状況と残された課題**

就農希望者との面談により、青年等就農計画の作成などを含めて、就農に向けた支援を進めてきた。しかし、就農希望者は就農可能なレベルの栽培技術や経営ビジョンを持ち合わせていないことが多いため、面談を通じて、必要な栽培技術等の習得を促すなどの指導を行うとともに青年等就農計画の作成や就農に係る制度利用等に係る支援を行う。

**成果指標と到達目標**



就農希望者への管内農業の紹介



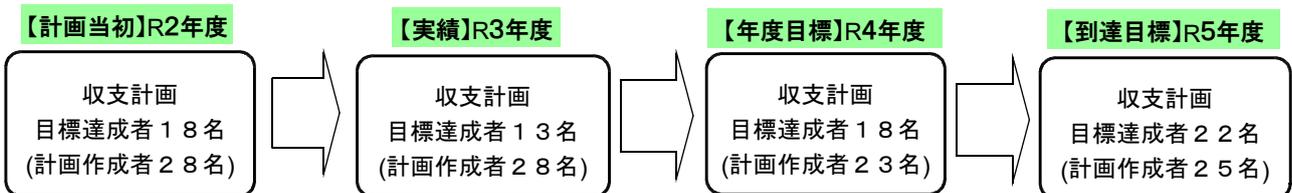
就農希望者との面談

**(普及指導課題) 2. 新規就農者の地域への定着**

**昨年までの活動状況と残された課題**

新規就農者に対しては、巡回指導や栽培技術講座により、経営安定に向けた支援に取り組んできたが、経営が安定せずに経営継続が困難となる者が見られる。新規就農者の地域への定着を促すため、経営安定化に必要な栽培技術や経営管理技術について指導する。

**成果指標と到達目標**





栽培技術講座



栽培現地見学

**活動計画**

普及指導事項	活動方法・回数等	月別活動計画												担当
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
就農希望者への対応	就農相談（随時）	就農相談の実施												○林島
	就農計画作成支援 2名×各4回	青年等就農計画作成支援												
新規就農者の地域への定着 ①栽培技術向上支援	巡回指導 115回 対象者23名×5回	巡回指導												○林島
	栽培技術講座(イチゴ) 3回	◎	◎									◎		
	②経営能力向上支援	サポートチームによる経営支援												
	経営能力向上講座 2回						◎					◎		
	専門家による面談 3回 3名×各1回	専門家による経営改善支援												

※サポートチーム（農業次世代人材投資事業 別記1 第7の2の(11)の規定による）

**関係機関との連携・関連事業**

- ・ 関係機関との連携：市町村、農業委員会（補助事業、農地権利移動）、なら担い手・農地サポートセンター（農地情報）、J A、日本政策金融公庫（制度資金融通）、なら食と農の魅力創造大学校（研修生受入）、担い手・農地マネジメント課
- ・ 関連事業：奈良の意欲ある担い手支援事業（新規就農者フォローアップ事業）  
農業新規参入者支援事業、新規就農者確保事業、農地マネジメント推進事業。

課題No. 4 課題名 意欲のある担い手の農業経営改善 (令和3年度～令和5年度)  
 農業振興課 担い手・農地マネジメント係

現状と将来ビジョン (対象 加工グループ、認定農業者、集落営農等)

これまで、加工グループに対して、適正な価格設定や新商品の開発や販路開拓について必要な支援を行ってきたが、売り上げが伸び悩み、経営体としての自立には至っていない。今後、経営改善に意欲ある加工グループに対し、経営改善指導等を行い、地域の担い手として育成することで、地域農業の活性化を目指す。

また、地域農業の中心となる担い手が、経営改善のための設備投資を行う際には、農地利用効率化等支援交付金や制度資金の活用を提案し、目標達成のため、適正な事業計画の作成等を支援してきた。今後も、この活動を継続するとともに、これまで事業導入等してきた経営体の事後指導を行い、地域農業の発展を目指す。

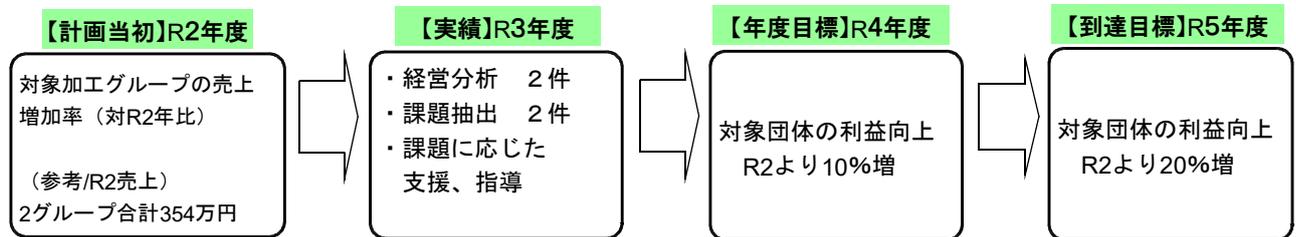
(普及指導課題)1. 農業の6次産業化によるビジネスへの取組支援

昨年までの活動状況と残された課題

令和3年度、2つの加工グループに対して、保存性の高い商品の販売数を増やしていくことや、組織の役割分担を明確にして、リーダーが販売促進や商品開発に専念できる体制を整えるように指導してきた。また、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の導入や適正な価格設定や新商品の開発、販路開拓について支援を行った。今後、加工グループが、地域農業の担い手となるためには、さらなる売り上げの向上が必要であることから、加工品の生産安定や販路拡大、衛生管理の徹底に取り組むことが重要である。

そこで、経営改善に意欲ある加工グループに対し、HACCP等衛生管理支援、商品改善、価格設定や販売方法など、売上増加に向けた支援を行う。

成果指標と到達目標



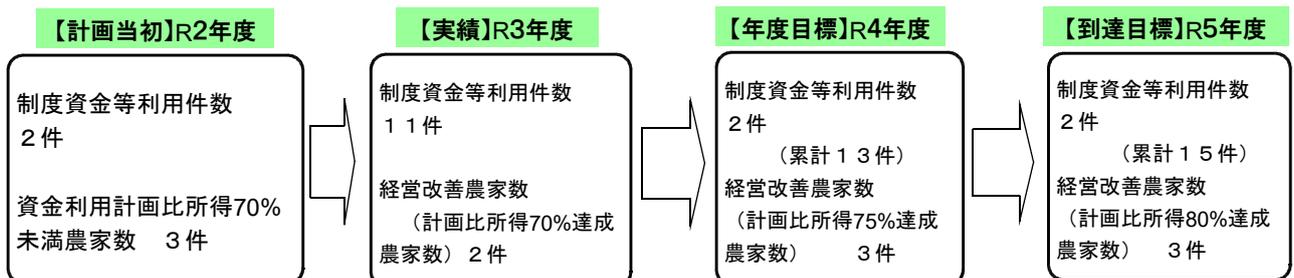
(普及指導課題)2. 認定農業者等の経営改善支援

昨年までの活動状況と残された課題

制度資金の活用により経営改善を目指す担い手に対し、事業計画書及び経営改善資金計画の作成支援を行ってきた。今後も、担い手が設備投資を行う際、制度資金等の利用により円滑に経営改善が行えるよう、適正な事業計画等の作成を支援していく。資金活用後の生産者に対しては、事業等実施後の経営状況等の確認を行い、経営改善のための指導を実施していく。

また、経営改善が必要な3件の資金利用者については、技術指導により2件は目標達成できたが、1件については、育苗管理不足から病気が多発し目標達成できなかった。対象者に対して、目標達成に向けて引き続き重点的に指導を行う。

成果指標と到達目標





専門家による相談会



加工品（新商品）の販売支援

**活動計画**

普及指導事項	活動方法・回数等	月別活動計画												担当
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
① 農業の6次産業化によるビジネスへの取組支援	技術等個別支援 8回	個別支援（販路拡大、衛生管理指導等）												○門
	研修会等開催 1回	研修会の開催												
② 認定農業者等の農業経営改善 ・ 資金利用計画等作成支援 ・ 認定農業者等の経営改善	資金利用計画等作成支援 2件	資金利用計画等作成支援												新子島 ○門
	経営分析、課題抽出 3件	経営分析、課題抽出												
	個別支援 7回×3件	巡回指導による個別支援												

**関係機関との連携・関連事業**

関係機関との連携：市町村、JAならけん、日本政策金融公庫、担い手・農地マネジメント課  
奈良6次産業化サポートセンター、豊かな食と農の振興課  
関連事業：経営体育成支援事業、農業の6次産業化支援事業、NARA女性農業者育成事業、

課題No. 5 課題名 経営体に合わせたイチゴの生産振興（令和3年度～令和5年度）

農業振興課 農産物ブランド推進係

現状と将来ビジョン（対象 イチゴ新系統生産者、明日香促成苺出荷組合）

県が育成したイチゴ新品種・系統である「珠姫」「奈乃華」「ならあかり」については、品種特性について不明な点も多い。管内イチゴ生産者の経営改善のため、これら品種の産地への導入を図るためには、各経営体の有利販売につながるよう、各品種の特性に応じた導入の支援を強化し、産地での定着を図ることが課題となっている。イチゴ新系統の特性を把握し品種に応じた適正栽培管理技術や販売方法について、関係機関と連携して指導し、安定生産や販売単価の向上を目指す必要がある。

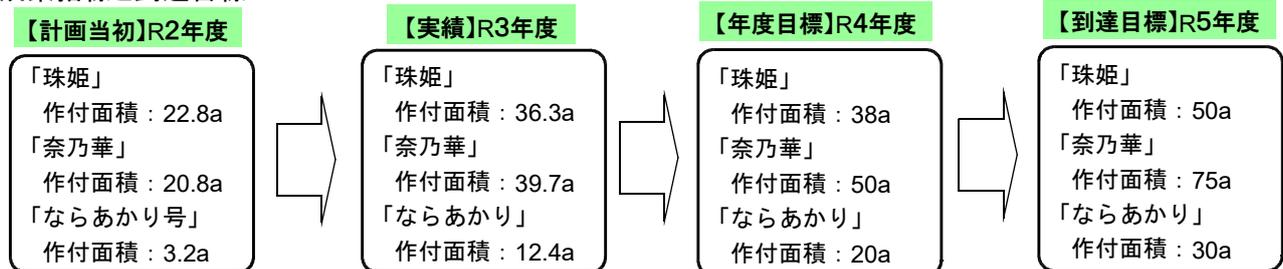
明日香村では、「アスカルビー」を主体に、観光資源を活用した直売、イチゴ狩り等により所得向上を目指している。また、奈良県農畜産物ブランド認証制度による「プレミアムセレクト」商材の生産も行われており、ふるさと納税返礼品や直売所でも販売されている。今後さらなる産地のブランド力向上のため、プレミアムセレクト商材の安定販売を推進し村の看板品目としての定着を目指す。また、明日香村のイチゴが観光資源の一つとして定着とイチゴ農家の所得向上のため、イチゴの品質向上に係る指導を行う。

（普及指導課題）1. イチゴ新系統の産地定着

昨年度までの活動状況と残された課題

昨年度、各品種・系統の現地適応性調査を4ヶ所で行った。そこで得られたデータをふまえ、今年度は栽培上の課題解決に向け、調査圃場を設置する。また、新品種・系統は炭疽病や萎黄病に抵抗性が無いため、育苗期に定期的な現地巡回を通じて、安定生産に向けた指導を行う。加えて、生産者の栽培方法や販売形態および品種選択の動向を調査・把握し、品種特性に応じたの有利販売方法について、関係機関等と検討する。

成果指標と到達目標



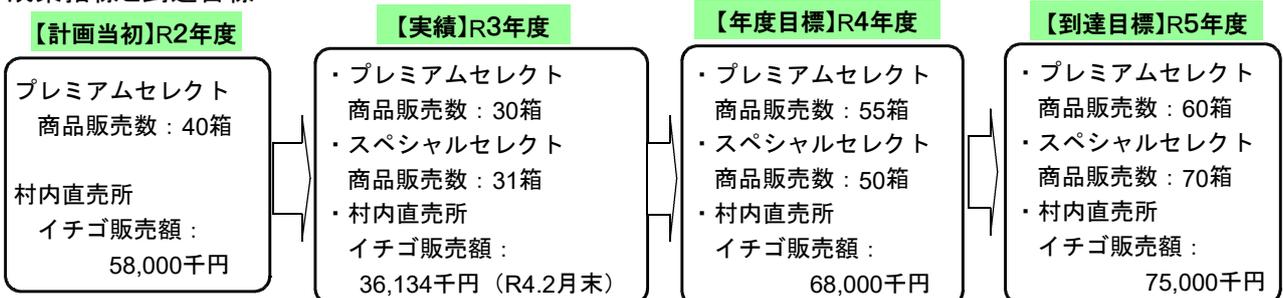
（普及指導課題）2. 明日香村産「アスカルビー」の販売拡大

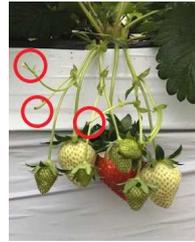
昨年度までの活動状況と残された課題

県のブランド農産物として販売を行っている「プレミアムセレクト商品」は、ふるさと納税返礼品としての出荷が定着してきている。今後も「ブランド品目」として定着させるため、関係機関が連携してPR方策を検討し、販売数の増加を目指す。比較的生産しやすい「スペシャルセレクト商品」は、令和3年度には、新たに1名が販売を開始した。今後、販売時期や出荷量の増加および新規取組者の拡大について検討し、数量拡大を図り、イチゴ生産者の売り上げ向上を目指す。

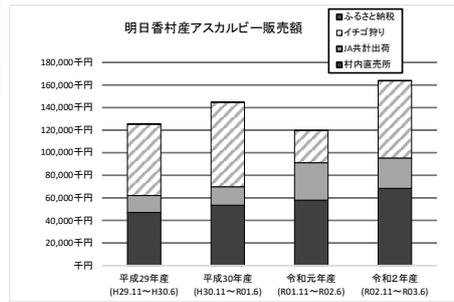
加えて、品質の維持向上を図るため、育苗期の病虫害防除や第2腋花房以降の摘果を指導し、出荷での事故品を無くすことで、産地の信頼度や販売単価の向上を目指す。

成果指標と到達目標





「プレミアムセレクトアスカルビー」と直売所での販売 摘果による品質向上



明日香村産アスカルビー販売額の推移

### 活動計画

普及指導事項	活動方法・回数等	月別活動計画												担当			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1. イチゴ新系統の産地定着 ①生産安定に向けた支援 ②適正な品種選定・導入の支援	調査圃場設置 3ヶ所 現地巡回指導 各1回 病害発生状況調査 1回			◎	◎												秀田 磯島 今村 ◎ 測上
	品種特性の情報提供 随時 作付面積調査 1回 販売先調査 1回 販売戦略検討会 1回		◎														
2. 明日香村産「アスカルビー」の販売拡大 ①プレミアムセレクト及びスペシャルセレクト商品出荷数の増加 ②育苗期の苗質管理と病害防止、摘果・脇芽管理の徹底による過熟果等発生防止	販売強化検討会 2回				◎												◎ 秀田 磯島 今村 測上
	現地重点指導 3回 情報提供・PR支援 随時				◎												
	現地巡回指導 5回	◎															
	講習会 2回 改善状況調査 2回																

### 関係機関との連携・関連事業

関係機関との連携：農研センター・病害虫防除所（技術情報提供）、JA各営農経済センター（営農指導）、明日香村（事業推進支援）、農業水産振興課・豊かな食と農の振興課（関連事業情報提供）  
 関連事業：リーディング品目支援事業（新系統イチゴの産地定着促進事業）、奈良県農産物ブランド認証推進事業

課題No. 6 課題名 特色あるキクの生産調整と新規生産者の確保による産地復活  
 (令和3年度～令和5年度)  
 農業振興課 農産物ブランド推進係

現状と将来ビジョン (対象 JAならけん葛城花卉出荷組合)

葛城市では、生産量が日本一の二輪ギクをはじめ、輪ギク、ミスギク、小ギク、マイクロマム等の多様なキクが生産されている。中でも他産地にはない特色あるキクとして二輪ギク・ミスギク・マイクロマムがある。

特色あるキクの最需要期(9～10月)の計画生産・販売体制を強化し、農家所得の向上を目指す。産地の看板商品である二輪ギク・ミスギクの出荷数量の増加を図り、また、省力生産可能なマイクロマムと組合せ、労働時間の削減や販売単価向上のための生産割合を検討することで、これらの特色あるキクの適切な生産割合検討や販売単価の向上を図り、高齢化により減少している生産面積・販売額を維持・拡大させる。

担い手の高齢化や後継者不足により、生産面積・販売額の維持が困難になってきている。他産地にはない特色あるキク(二輪・ミス・マイクロ)を軸とした販売体制強化するためにも新たな担い手を確保し、生産量・販売額の増加を目指す。

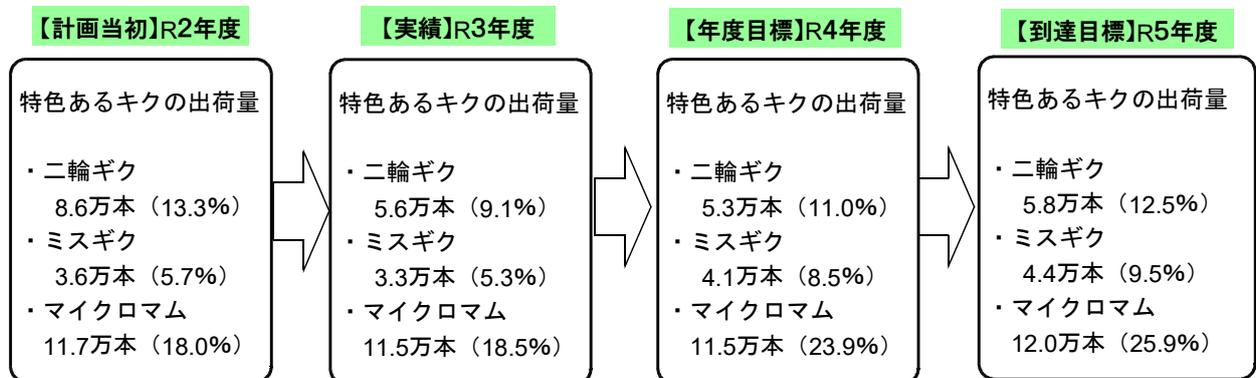
(普及指導課題) 1. 特色あるキクの計画生産・販売体制の強化

昨年度までの活動状況と残された課題

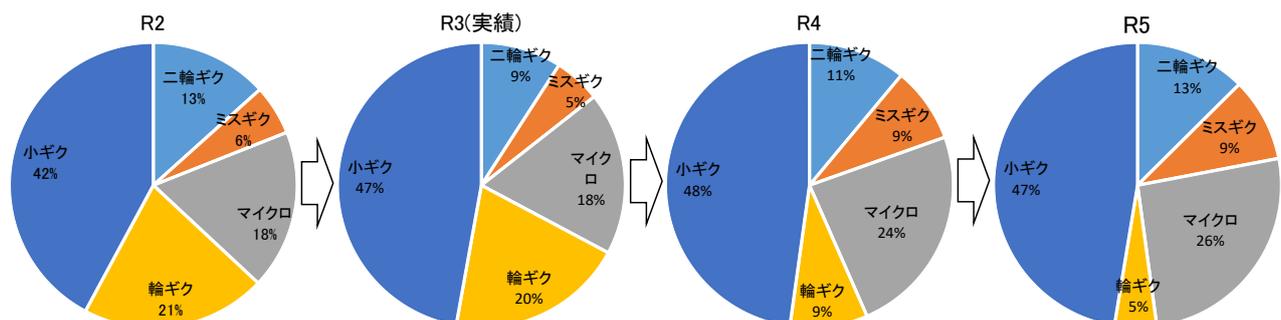
昨年、特色あるキクが生産に要する労働時間を調査し、小ギクと同等の労働時間・所得となる販売単価・栽培面積を算定し、他産地にはない特色あるキクの価値を再認識させ、販売計画を立てていく必要性を提示した。

産地自らが明確な生産・販売戦略を具体的に構築し、実需者のニーズにあった生産・出荷体制を整え、産地のブランド強化・有利販売につなげる。また、高齢の生産者の離農によって失われてしまう特色あるキクの仕立方等を、新たな担い手に技術継承するための方法の検討が必要である。

成果目標と到達目標



9～10月のキクの生産割合





二輪ギク県育成品種  
「千都の風」



ミスギク  
「金茶ミス」



マイクロマム  
「流れ星」



キク産地づくりセミナー開催に係る関係者による打合せ

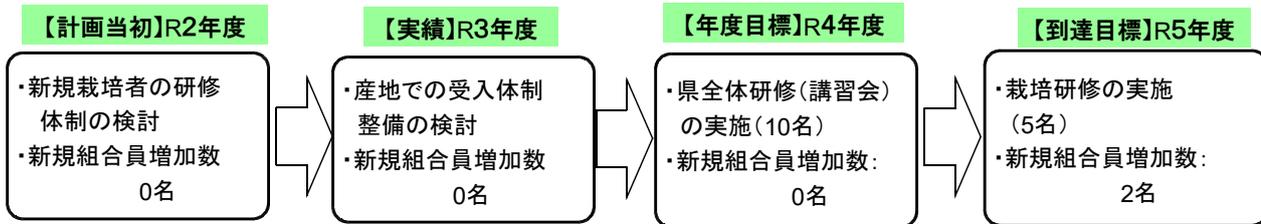
**【普及指導課題】2. 新たな担い手の確保のための受入れ体制整備**

**昨年度までの活動状況と残された課題**

新たな担い手を確保するための「キク産地づくりセミナー」の開催提案を行い、生産者・JA・葛城市の了承を得られ、各々の役割分担について合意を得ることが出来た。

生産者・JA・葛城市等の関係機関と連携し、「キク産地づくりセミナー」を開催し、セミナー受講生への講習会と実習会を開催する。

**成果指標と到達目標**



**活動計画整理票**

普及指導事項	活動方法・目標	月別活動計画												担当		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1. 特色あるキクの計画生産・販売体制の強化 【特色あるキクの生産割合の検討】	作付調査 1回		◎	◎	◎	◎										○山本前田門
	生育巡回 10回			◎	◎	◎	◎	◎								
実需者との協議 1回			◎	◎	◎	◎	◎									
技術継承方法の検討と記録 5回	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
県電照補助事業の利用支援 8回	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
検討会 3回																
県育成系統ミスギク現地試作10系統																
2. 新たな担い手の確保の受入体制整備	「キク産地づくりセミナー」の開催		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○山本前田門	
	検討会 5回															
	セミナー 5回															

**関係機関との連携**

関係機関との連携：農研センター（技術情報提供）、JA新庄営農経済センター（営農指導）、葛城市（作付推進支援）、農業水産振興課（全体調整）

関連事業：リーディング品目支援事業（キク産地生産革新支援事業）

**現状と将来ビジョン** (対象 JAならけん葛城支店柿部会)

御所市は「甘柿のルーツ」といわれる御所柿の原産地として知られるなど歴史ある柿産地であり、小規模ながらも柿栽培に適した気候風土を活かした柿生産を行っている。しかし、部会員の高齢化や園地の老木化が進んでおり、産地の維持活性化のためには、生産性の向上や耕作放棄園の発生防止が大きな課題となっている。

そこで、補植改植(間植え改植)を導入し、生産の途切れなく園地の若返りを推進するとともに、新たな病害虫対策や栽培技術の実証・普及に取り組み、下等級品割合を減らすなどして生産者の収益向上を図る。また、柿の木オーナー園(消費者との交流)や柿葉栽培(軽量省力化)の拡充、選果効率向上の取り組みを行い、園地を有効活用し、耕作放棄園の発生防止を図る。

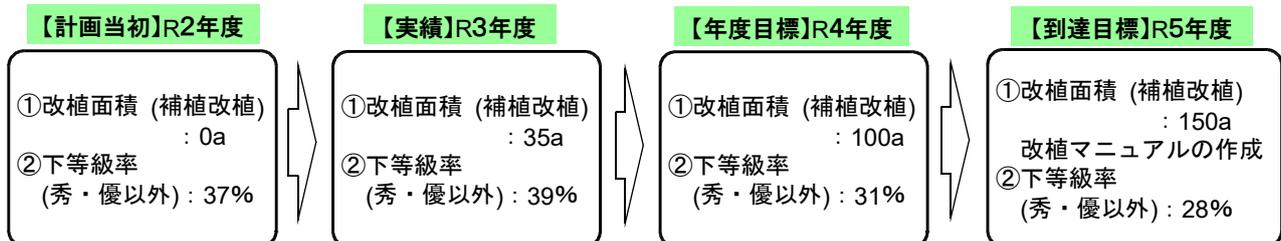
**(普及指導課題)1. 改植や新技術の導入による柿園の生産性向上**

**昨年度までの活動状況と残された課題**

柿園の生産性向上には、改植による園地の若返りが不可欠である。昨年度、改植モデル園を設置し、改植方法を検討したところ、産地として直播での改植を推奨する方向性となった。今後、部会員に改植への啓発を行うとともに、小規模園地向けの補植改植マニュアル作成に向けたデータ収集が必要。

また、収益向上のための病害虫対策として昨年度、カイガラムシの効率的防除法の実証と雑草カメムシの加害把握を実施。今後、産地に適した防除方法の探索が必要である。

**成果指標と到達目標**

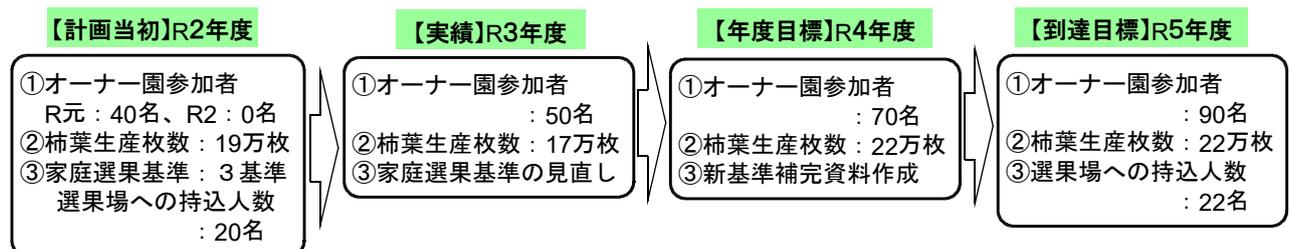


**(普及指導課題)2. 耕作放棄園の防止対策**

**昨年度までの活動状況と残された課題**

高齢化の進む産地では耕作放棄が進んでおり、これによる産地全体としての生産力が低下しているほか、耕作放棄園は周囲園地への病害虫の温床になること等が大きな問題となっている。柿の木オーナー園や柿葉生産により園地を有効活用しており、オーナー園は昨年度、拡充のための園地整備指導により参加者増に対応できる状態となったことから、引き続き、管理指導を行う必要がある。柿葉生産は、増産にむけ実証園を設置した。今後、調査を行い、この結果に基づき現場指導を行う必要がある。また、家庭選果の基準を簡易にすることで生産への負担軽減も行った。今後、新基準の補完資料を作成し、簡素化した基準を周知することで出荷意欲維持に努める。

**成果指標と到達目標**





課題No. 8 課題名 特色を活かした地域特産野菜の生産振興(令和3年度～令和5年度)  
 農業振興課 農産物ブランド推進係

**現状と将来ビジョン** (対象：田原本町味間いも生産者の会(26戸)、  
 御所市地域農業再生協議会 多品種部会(8戸)、わけぎ部会(8戸)  
 田原本町産「味間いも」は生産者の会で選別基準を設け、組織的なブランド構築に向けて町や  
 J Aと連携し、生産振興を行っている。栽培農家の所得増加と、田原本町の特産品としての消費  
 者の認知度向上を目指すため、産地として安定した品質と供給量の確保が必要である。  
 御所市地域農業再生協議会多品種部会及びわけぎ部会では、大和野菜「紫とうがらし」を始め、  
 「宝樂ししとう」やオクラ、分葱の生産に取り組んでいる。いずれの野菜も「ごせブランド」商  
 品として市が認定し、J A・市場を通して県内スーパーで販売されている。御所市の特産品とし  
 てより一層の認知度向上と農家の所得向上を目指し、出荷量及び販売額の増加を図る。

**(普及指導課題1)田原本町産「味間いも」のブランド推進**

**昨年度までの活動状況と残された課題**

昨年は、田原本町産味間いもの認知度向上を目的に、まほろばキッチンでの販売促進支援や、田原  
 本町ふるさと納税の返礼品としての出品を開始した。県内でのさらなる認知度向上を目指し、販売促  
 進支援を行うとともに、田原本町ふるさと納税返礼品のPRを行う。安定した販路先として、市場出  
 荷も検討する。

安定した品質と供給を確保するため、生産者が主となって種芋を生産する体制の整備が必要である。

**成果指標と到達目標**



種芋生産実証ほ



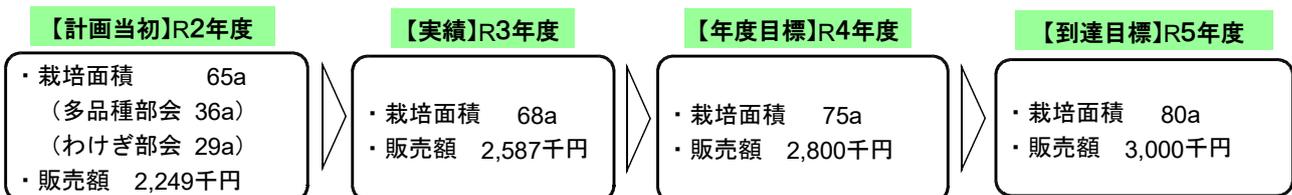
販売促進支援

**(普及指導課題2)御所市特産野菜のブランド推進**

**昨年度までの活動状況と残された課題**

御所市地域農業再生協議会の取り組みとしては4年目。昨年は飲食店の需要が減り、単価が下落し  
 たが、直売所等の市場外出荷に力を入れ、販売額は増加した。今後も直売所等への出荷を重点的に行  
 う。生産者の所得増加とより一層の消費者の認知度向上のためには、生産者個々の栽培管理技術の向  
 上を図り、品質の安定や出荷量増加を目指す必要がある。また、新たに秋野菜の栽培にも取り組む。

**成果指標と到達目標**





多品種部会の様子

紫とうがらし

宝楽ししとう

オクラ「ヘルシエ」

分葱

活動計画

普及指導事項	活動方法・回数等	月別活動計画												担当		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
【味間いも】																
①安定生産支援	・作付調査 1回 ・生育巡回 4回	◎ 作付調査		◎ 生育巡回												秀田 磯島 ○ 渊上
◎ 土寄せ	◎ 芽かま指導	◎ かん水管理指導	◎ 病害虫対策指導													
◎ 販売対策検討会	◎ 販売対策検討会															
◎ 選果向上支援	◎ 市場調査															
◎ 販売促進支援	◎ 販売促進支援															
◎ 種芋圃場設置	◎ 種芋圃場設置															
◎ 種芋供給検討	◎ 種芋供給検討															
◎ 体制整備検討	◎ 体制整備検討															
◎ 選果向上支援	◎ 選果向上支援															
◎ 市場調査	◎ 市場調査															
◎ 販売促進支援	◎ 販売促進支援															
◎ 種芋圃場設置	◎ 種芋圃場設置															
◎ 種芋供給検討	◎ 種芋供給検討															
◎ 体制整備検討	◎ 体制整備検討															
【御所市特産野菜】																
◎ 栽培講習会	◎ 栽培講習会															○ 秀田 磯島 今村 渊上
◎ 生育巡回	◎ 生育巡回															
◎ 販売対策検討	◎ 販売対策検討															
◎ 市場調査	◎ 市場調査															
◎ 次年度検討	◎ 次年度検討															

関係機関との連携

【味間いも】

- 田原本町地域産業推進課 (情報発信支援、他団体との連携支援)
- JAならけん (組織運営支援、生産・販売支援)
- ようやるで おばちゃんの家(女性グループ) (加工品PR連携協力)
- 農業水産振興課・豊かな食と農の振興課 (補助事業等情報提供、学校給食等連携支援)

【御所市特産野菜】

- 御所市農林商工課 (情報発信支援、他団体との連携支援)
- 御所市地域農業再生協議会 (ブランド推進支援、プロモーション支援、加工品開発支援)
- JAならけん (組織運営支援、生産・販売支援)
- 農業水産振興課・豊かな食と農の振興課 (補助事業等情報提供、学校給食等連携支援)

### 3. 一般活動計画

課題又は品目	指導対象	活動内容	主担当 (係名※)	関連事業
<b>1. 奈良の食の魅力づくりと県産農産物の戦略的な販売の推進</b>				
首都圏での大和野菜等販路拡大	生産者組織等	首都圏へ高品質な県産農産物を安定供給するための生産指導及び販売イベントに係る情報提供	秀田 (ブランド)	首都圏での大和野菜等販路開拓事業 首都圏等への農産物の物流・商流確保支援事業
加工品開発と6次産業化の推進	重点課題対象組織以外の生産者組織等	地域資源を活用した加工品開発や6次産業化支援	門 (担・農)	農業の6次産業化支援事業 首都圏での奈良の食のPR強化事業
農産物直売活動の推進	農産物直売所出荷者	各直売所の管理運営や特産品開発・表示・農薬安全使用に関する指導・助言	門 (担・農)	農産物直売所支援事業
学校給食への県産食材の利用促進	生産者組織等	学校等の給食における県産食材の安定供給のための栽培技術指導	淵上 (ブランド)	奈良県産給食推進事業
<b>2. 県産農産物の生産振興</b>				
大和野菜等の振興	大和野菜等生産者	大和野菜の安定生産のための栽培技術指導	淵上 (ブランド)	チャレンジ品目支援事業 (大和野菜収益向上対策事業)
主要野菜の振興	生産者組織等	イチゴ、ナス、キュウリ、トマト、ネギ、軟弱野菜等の安定生産と規模拡大のための栽培技術指導	秀田 (ブランド)	野菜価格安定対策事業
主要果樹の振興	生産者組織等	イチジク、サクランボ、カンキツ、ブドウ、クリ等の安定生産のための栽培技術指導	今村 (ブランド)	チャレンジ品目支援事業 (イチジク東京出荷推進事業) 果樹産地構造改革支援事業
主要花きの振興	切り花・鉢花・花壇苗生産者	安定生産及び経営安定のための栽培技術指導	山本 (ブランド)	
薬用作物の振興	薬用作物生産者	薬用作物（大和トウキ等）の産地形成・販売強化へのための栽培技術指導	前田 (ブランド)	薬用作物栽培技術導入推進事業
主要作物の安定生産	水稲、小麦、大豆等生産者	基本技術の徹底による高品質・安定生産のための栽培技術指導、水稲のトビイロウンカ対策指導	淵上 (ブランド)	
優良種子の生産	各採種組合（水稲、小麦、大豆）	適管理等による優良種子の確実な生産に必要な栽培技術を助言・指導	淵上 (ブランド)	主要農作物生産改善対策事業
米政策改革及び経営所得安定対策の推進	管内15市町村地域農業再生協議会	各地域水田フル活用ビジョンの実現に向けての指導・助言	磯島 (ブランド)	経営所得安定対策等推進事業

(※係名は、ブランド：農産物ブランド推進係、担・農：担い手・農地マネジメント係)

課題又は品目	指導対象	活動内容	主担当 (係名※)	関連事業
環境保全型農業の推進	管内取組農業者 市町村	環境に優しく持続可能な農業を目指す農業者等への支援 エコファーマー申請支援 促進計画作成支援 展示圃設置	淵上 (ブランド)	資源循環型農業推進総合対策事業 環境保全型農業直接支払事業
グリーンな栽培体系への転換の推進	笠そばグリーン農業推進協議会	化学肥料の使用量低減や管理作業の省力化技術の普及を推進	秀田 (ブランド)	みどりの農業戦略推進事業
GAP取組の推進	管内取組農業者	品質向上、競争力強化につながるGAP（生産工程管理）の取組を推進	今村 (ブランド)	奈良県GAP取組・認証拡大推進事業
スマート農業の取組推進	管内取組農業者	環境測定システムを利用した栽培管理技術の取組を推進するための技術指導	前田 (ブランド)	次世代スマート農業普及推進事業
耕畜連携による堆肥利用促進	管内取組農業者	耕種農家と畜産農家の連携を推進し、県内畜産堆肥の利用拡大を推進	秀田 (ブランド)	
肥料・農薬適正使用の推進	管内農業者 肥料・農薬販売業者	農薬安全使用指導 適正な肥料・農薬販売業務の実施に係る指導	磯島 (ブランド)	農薬適正使用推進対策事業
農作業安全対策の推進	管内農業者	農作業安全指導	山本 (ブランド)	
地域協議会活動への支援	中部地域農業推進協議会 各営農連絡協議会	各協議会活動の円滑な遂行に対する支援	秀田 (ブランド)	
<b>3. 担い手の育成・確保と農地マネジメントの推進</b>				
地域リーダーによる担い手育成確保	中部地域の農業振興を考える会	地域リーダーを中心とした担い手の育成確保のための支援体制づくり	島 (担・農)	農業士活動事業
認定農業者経営改善計画の作成および新規認定への誘導	認定農業者及び同候補者（中心経営体等）	認定農業者の再認定に係る経営改善計画作成支援および中心経営体等の新規認定への誘導	島 (担・農)	農業経営基盤強化促進対策事業
集落営農組織の経営改善指導	集落営農組織	集落営農関連事業の活用等による既存の集落営農組織の取り組みを支援	東井 (担・農)	奈良の意欲ある担い手支援事業
効率的かつ安定的な農業経営を目指す担い手への支援	新規就農者や認定農業者等	奈良県農業経営者サポート協議会と連携し、意欲ある担い手の農業経営改善支援	島 (担・農)	地域農業担い手確保支援事業

(※係名は、ブランド：農産物ブランド推進係、担・農：担い手・農地マネジメント係)

課題又は品目	指導対象	活動内容	主担当 (係名※)	関連事業
多様な担い手の育成	全域	地域農業の振興に向けて地域の農業者や集落営農を目指す組織の取り組みを支援	東井 (担・農)	兼業農家支援事業
女性農業者の育成・確保農村女性起業家の育成	中部農村生活研究グループ協議会 女性農業者	地域資源を活用した加工や販売など、6次産業化を目指す女性の起業活動を支援	門 (担・農)	NARA女性農業者育成事業
青年・若手農業者の育成	桜井4HC 飛鳥4HC 若草AC 青年農業者	意欲ある若手農業者を優れた農業経営者に育成 青年農業者等のグループ活動を支援	新子 (担・農)	
障害者の就農へのスキルアップ支援	管内障害者施設	障害者就労支援事業所に対する農業技術指導などのフォローアップ	島 (担・農)	農福連携支援事業
担い手への農地集積の推進	農地利用集積円滑化団体 市町村農業委員会	農地の出し手・受け手マッチング等の担い手への農地集積を円滑に実施するための運営を支援	東井 (担・農)	農地マネジメント推進事業

#### 4. 地域資源を活用した農村地域の活性化

農村資源を活用した地域づくり	市町村 取り組み集落	農村の持つ多面的機能を維持管理、農業生産活動の支援 地域づくり実践活動への支援	東井 (担・農)	農村資源を活用した地域づくり事業 中山間地域等直接支払事業
鳥獣害対策の推進	市町村 鳥獣被害集落	被害防止計画策定支援 被害防止技術等の情報提供	山本 (ブランド)	総合的鳥獣害対策推進事業 鳥獣被害防止対策事業 ならびにジビエ推進事業 集落ぐるみ被害対策強化事業
地域主催イベントへの支援	市町村、JA、 農業者団体等	各種イベントへの支援による多様な農業者の生産意欲の啓発と地域農業の振興	秀田 (ブランド)	

(※係名は、ブランド：農産物ブランド推進係、担・農：担い手・農地マネジメント係)

#### 4. 調査研究計画

調査研究課題	実施場所 及び対象	調査内容	担当者	協力機関
イチゴにおけるUV-B電球型蛍光灯利用によるうどんこ病防除技術の検討	場所：樺原市 対象：イチゴ生産者	UV-B電球型蛍光灯を導入するイチゴ生産者圃場において、うどんこ病の発生程度を調査し、防除効果と実際の利用に際しての問題点を確認する。	湧上 (農産物ブランド推進係)	農業研究開発センター
管内各地域のイチゴ生産者の状況把握	場所：管内全域 対象：イチゴ生産者	管内イチゴ生産の維持・拡大に向けた課題を抽出するため、生産者の経営規模や品種構成の傾向等を地域別に把握する。	磯島 (農産物ブランド推進係)	JAならけん 農業研究開発センター
野生鳥獣に対する集落ぐるみの被害対策について	場所：桜井市 対象：吉隠集落 (主に水稻生産者)	イノシシによる既存の侵入防止柵の潜り抜け防止のため、新たに侵入防止柵にネット柵を展張し、その侵入防止状況について調査を行う。また、その他の侵入経路についても調査を行う。	山本 (農産物ブランド推進係)	桜井市
御所柿の無核化が着果に及ぼす影響	場所：御所市 対象：御所柿生産者	ネット被覆等による花粉遮断により御所柿の無核化を図り、着果率、有核率等の調査を行う。	今村 (農産物ブランド推進係)	農業研究開発センター
薬用トウキ栽培における一穴密植栽培技術の検討	場所：桜井市 対象：薬用作物生産者	薬用トウキの一穴密植栽培における労働生産性とトウキ根の生育に関する調査を行う。	前田 (農産物ブランド推進係)	農業研究開発センター